

JAXA の宇宙基幹システム本部の河内山治朗理事が資料 39-2-1(H- A # 14 追跡管制計画書)及び資料 39-2-2(改良型 LE5B と新しい SRB-A)を説明し、MHI の宇宙機器技術部の森健部長も参加して下記の質疑応答が行われた。(衛星の投入軌道の違いにより、先の#13 と追跡管制局が異なるが、今回も MHI が提供する打上げ輸送サービスでの実施になる。改良型 LE5B は振動燃焼を大幅に抑えられ、新しい SRB-A は局所エロージョンを殆ど押さえ込み、燃焼圧力を上げたので燃焼時間が少し短くなっている。)

青江:念の為もう一度確認しますが、今度の新開発 LE-5B と新しい SRB-A の開発の責任は、JAXA が責任を持って行った。そして、其れを基に今期の新規採用は三菱重工側の判断と責任において行われていると云う理解で宜しいでしょうか。

MHI 森:はい。

松尾:現地作業については、なお、試行錯誤がかなりある状況ですか。大体落ち着きましたか？

MHI 森:かなり落ち着いてきていると思います。

松尾:大変定性的な質問で申し訳ないが。

MHI 森:役割分担と云う意味では、(咳払いで聞こえない)しつつあると思います。ただ、MHI の方は経験、やっぱり不足して居りますので、ご指導等仰ぎながら進めている状態で御座います。

松尾:どうも有難う御座います。

JAXA 河内山:其れともう一つは、どんどん良くして行こうと云う事で、三菱さんと一所懸命、知恵を絞って、頑張らせて頂いています。我々は下支えになって居ります。

松尾:はい、どうも有難う御座います。それではこの件につきましてはもう一件御座いまして、「安全に係る調査審議について」と云う事で。

文科省の片岡参事官が資料 39-2-3(安全部会審議)を説明し、部会への付託が決定された。

松尾:どうも有難う御座いました。唯今の主旨に従いまして、安全部会を開催したいと思います。よろしく申し上げます。此れは「付託をした」と云う決定事項にさせて頂きす。どうも有難う御座いました。此処まででロケット側の話は終わります。次は衛星側の話を。(議題 3 へ)